

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第16回放送の概要 (2010年4月24日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なかちゃん (中嶋邦弘)

コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
一ノ瀬悟

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM) 2010年、おかげさまで創業120年を迎えることができました。ナチュラルであること、ヘルシーであること。そして安全で安心できる製品であること。それは、今も昔も変わらない共進牛乳のモットーです。今日は株式会社共進牧場様のご協力をいただきました。

(CM) 日本のものづくりを、システム開発でサポートする、スリープラス株式会社。タクシー無線のアナログ電波停止対応も、低コストでお手伝いできます。今日はスリープラス株式会社様のご協力をいただきました。

1. オープニング

「ゆうかりに乾杯」番組が皆様のご支援のおかげで1周年を迎えることが出来ました。更に楽しい番組に出来るよう頑張っていきたいと思えます。毎回ゲストをお迎えして番組を進めていますが、これからもFMわいわいの理念に沿って皆様に喜んでいただける番組になるようスタッフ一同気持ちを新たに取り組んでまいります。

2. ゲストコーナー：宮崎泰樹さん (49 陽会)

ゲストの宮崎さんは絵を描かれています。湊中学から兵庫高校へ行かれた人には絵を描く人が多く、杉浦祐二さん、日本画家の森英明さん、フランスから帰国し今個展を開催している坂本吉章さん、大前泰子さんなどがいます。杉浦さんは美術大学卒業後イタリアで勉強され壁画などで活躍され帰国されている。絵画の世界は60歳は若輩という世界である。森英明さんは京都画壇で日本画で活躍する50人の一人として活躍されている。

宮崎さんは会社時代は1年半で、学生時代は美術をやっていたので女性下着の担当になり、絵心があればデザイン性のあるものが開発されたとき販売にも役立つということで営業マンとして近畿一円まわった。1年たてば売れ筋もわかったが途中で挫折した。その後伊丹市役所にかわった。役所は特殊技能、プロ級の趣味を持った人は歓迎される。芸は身を助けるの通りかつての市長が作った生活文化部で5年間美術担当の仕事をし、文化の時代のさきがけの仕事をした。財政、人事などで仕事をしていると休日は仕事ではあまり使わない右脳を使うが、文化の仕事していると休日と同じ脳を使うのでしんどくなる。これがひとつの(贅沢な)悩みである。宮崎さんはやさしく温厚な方であるが2月の個展ではとても力強いデッサンでここ3年ほど風景画を描かれています。

『音楽をやっている人は大きく変わることはないと思うが画家の画風はころっと変わることがあるように素人は感じることもある。杉浦さんの場合は怖いような人形の絵を描かれていたが水

彩画の花の絵は暖かさを感じる。』ということについては、見る人の立場からは人形はあの画家のテーマという風に考えることも大事になる場合があるとのこと。

宮崎さんは、画風はやさしく描くか強く描くかなど表現方法は変わるが風景画が好きである。練習では現在でもヌードデッサンをしており、大きな展覧会では抽象画も描いているが自分に合った描き方は自分でもわからない。思いっきり個性を出すときは抽象画を描く。風景画はこの3年間で自分としての描き方を確立したと考えている。個展をする会場を1年前に契約し、1年間で40~50点描くが、好きな建物を描く方針をたてインターネットや本で全国の赤レンガ、近代建築を調べ全国をまわり描いてきた。

県庁近くの栄光教会や県庁の食堂前には絵を描く人がたくさん来ていた。しかし木を剪定しないという方針があったので木が茂り教会が見えなくなった。これは北野町も同じで無剪定の家屋からは港が見えなくなっている。絵描きの立場からは残念である。もえぎの館が楠木でまったく見えなくなっている。落葉樹にしてもらえればと思う。レトロの建物としてはレンガが最も魅力がある。かつての日本ではレンガは良いものが出来なかったのですべて輸入で、古いほど味が出てくるからである。佐伯画伯がパリの風景は油絵の画材になるが日本の家は湿っていて陰があり洋画にならないと言っている。油絵の顔料はドライな表現に合うが日本画や水彩画はウエットな風景が似合うと思う。佐伯画伯は帰国後いい絵が描けなかったといわれている。日本画、中国画、洋画といった区分をするが、平面絵画として展覧会をする場合日本画、洋画と分けることはナンセンスと考えている。日本画と洋画の違いは単に材料の違いだけである。片岡球子さんの日本画は洋画以上に大胆な絵を描かれている。従ってジャンルわけは不必要である。

個展はなかなか出来ないがグループ展は年に4回行っている。似顔絵をよく描かれているが人体、人物を描くのが画家の基礎と考えているからである。有名な林武さんが人物を描くときはビールを飲みながら描かないが、静物や風景を描くときはビールを飲みながら絵を描くと言っている。アルコールが入るとデッサンが狂うと感じておられたと思う。スナックで何百枚も描いてきたが飲み代を払ってくれたこともあった。喜んでいただけるとうれしし自分も勉強になる。

今後の活動計画としては地元でサークルを作っているなのでその活動、もう一度基礎に立ち返ってやってみるとか、4~5年後にもう一度個展をするとかを考えている。

3. ゆうかり大好きコアラさんの地域瓦版

ゴールデンウィークがくるので色んな催しが始まっている。今日から花を敷き詰めるという意味のアンフォラータこうべが始まります。須磨海浜水族園では蛍いかの光るのを見に行こうという企画や動物園でも色んな企画があります。神戸市の情報サイトが充実してきているので活用してください。5月8、9日は新開地音楽祭があり野外音楽祭としてはいい感じになってきている。今年は泉谷しげるさんも来られ、クラシックステージも新たに出来た。特産品のコーナやアート縁日、フリーマーケットなど家族で楽しめる。全国規模のオーディションで選ばれた130バンドが6ステージに出演します。6月29日まで神戸文学館（関西学院のチャペル）で「SF幼年期と神戸」という企画展があります。

4. 来月の予定

旅行業をしておられ、神戸の歴史研究をしておられる北井正昭さんにお話を伺います。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで : buyou49@nifmail.jp